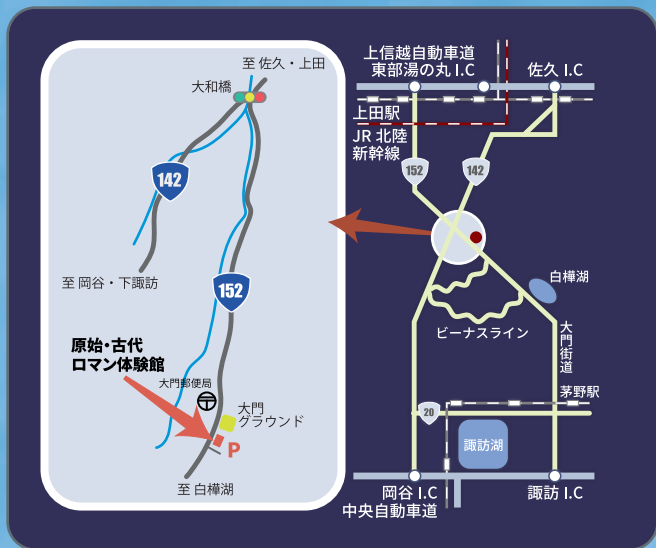


# MAP/ACCESS



長和町立考古・民俗資料館

# 原始・古代 ロマン体験館

中央自動車道	諏訪 IC ~	約 1 時間	上田駅 ~	約 45 分
	岡谷 IC ~	約 1 時間	佐久平駅 ~	約 45 分
上信越自動車道	東部湯の丸 IC ~	約 1 時間		
	佐久 IC ~	約 1 時間	白樺湖 ~	約 30 分

# INFORMATION

- 開館時間 9:00 ~ 17:00
- 休館日 月曜日（祝祭日の場合は翌日）  
年末・年始
- 入館料 高校生以上 200 円  
小・中学生 100 円
- 体験料 土器づくり体験 1000 円  
※入館料含む  
※送料は別途掛かります  
※要予約

〒386-0601 長野県小県郡長和町大門 1518  
TEL : 0268-68-4339 FAX : 0268-68-4343  
URL : <https://hoshikuso.jp/roman/>



# 館内展示

# のご案内

## 縄文鉦山こうざんを支えた 人々の暮らし



長和町の縄文人たちが暮らしていたムラの背後には、日本でも類例の少ない縄文の黒耀石鉦山“星糞峠”が控えていました。

遺跡からは、関東や北陸、東北地方で人気のあった模様をつけられた縄文土器が多く発見されており、黒耀石をめぐる様々な地域の縄文人と交流していた様子が分かります。



## 縄文人が 土器に込めた想い に触れる

なかみち 中道遺跡から出土した香炉形土器には、優しく微笑むような顔が3つ付いています。もしかしたら、この土器をつくった縄文人は2人の子どもを優しく抱く母親をイメージしてつくったのかもしれない。

文字のなかった縄文時代…。人々は身近な風景の記憶を芸術的な土器の造形の中に表現していたようです。館内では、様々な模様の縄文土器を間近で観察することができます。

ぜひ、土器に込められた想いを感じてみませんか？



## 現なつちょっと懐かしい？ 代の暮らしを見る

館内には、復原された縄文時代の竪穴住居あな じゆうきょとともに、昭和初期の茅葺屋根のお家を移設展示しています。私たちが暮らす家とどこが変わったのでしょうか？

暮らしの移り変わりについて考えてみましょう。



## あなたも 縄文人になってみる？



### 土器づくり体験

体験料：1,000円

※完成まで約2ヶ月かかります。  
(乾燥～焼成まで)  
※送料は別途必要です。

ロマン体験館では館名の通り、土器づくりが「体験」できます。

館内に展示されている土器を精巧に再現してみたり、自由に模様や装飾を付けてみたり…

お時間の許す限りゆっくりと土器づくりに挑戦してみてください。

# 黒耀石と日本列島の歴史

日本列島に人類が渡ってくる  
竹佐中原（飯田市）・立が鼻（信濃町）  
40,000年前より以前

最終氷期のあとは、急速に温暖化がすすむよ

黒耀石原産地に大規模な遺跡が出現し、石槍がつくられるようになる

鷹山・男女倉（長和町）  
22,000年前

土器や弓矢がつくられるようになる

貫ノ木（信濃町）  
15,000年前

主な出来事

県内の主な遺跡名

各地に大きなムラがつくられる

6,000年前

寒冷化により中部高地のムラの数が増える

3,500年前 2,300年前

現代

## 旧石器時代

37,000年前

黒耀石でナイフ形石器や台形様石器をつくりはじめる

33,000年前

環状の大きなムラがつくられる  
日向林B（信濃町）

## 黒耀石が活躍した時代

24,000年前

最も寒冷な時期（最終氷期）

20,000年前

細石刃を埋め込んだ槍がつくられるようになる  
矢出川（南牧村）・標ノ木平（長和町）

## 縄文時代

星箕峠で黒耀石の採掘が行われる

8,000年前

沿岸部では漁労が盛んになり、貝塚がつくられるようになる

5,000年前

中部地方の縄文文化が発達し、豪華な土器がつくられるようになる  
大仁反・明神原・滝（長和町）

## 弥生時代

稲作をはじめ、金属器が大陸から伝来するようになる

## 黒耀石鉱山と黒耀石の流通



## 黒耀石原産地から各地のムラへ

黒耀石原産地に近い地域では、採掘などによって手に入れた黒耀石を分配する流通拠点のようなムラ跡が見つかっています。また、ムラによっては黒耀石が穴の中に入れておられ、縄文人は黒耀石を貴重な資源として貯蔵していたようです。

## 信州産黒耀石の流通範囲

